

プレスリリース

2025 年
7 月 18 日

関係各位
全4枚

企画展(常設展示室)開催のお知らせ

ながさきピース文化祭 2025 皇室の名品と長崎一皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

会期 | 2025 年 9 月 14 日 (日) ~ 10 月 19 日 (日)
会場 | 常設展示室第 1・2 室

国宝をはじめ、長崎ゆかりの名品が大集結！



① 国宝《蒙古襲来絵詞》前巻(部分)、鎌倉時代(13世紀)、紙本着色、国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）

第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭「ながさきピース文化祭 2025」にあわせて開催する本展は、皇室ゆかりの美術工芸品などを収蔵・展示する皇居三の丸尚蔵館の収蔵品を中心に構成されます。とりわけ本展では、明治時代以降の長崎ゆかりの美術を収集、展示してきた長崎県美術館の活動に鑑み、約 6,200 件に及ぶ皇居三の丸尚蔵館の収蔵品の中から、すぐれた風景画家として名をのこした長崎市出身の洋画家、山本森之助の作品や、荒木寛畝の養子となって近代の日本画壇を牽引した大村市出身の荒木十畝の作品など、近代以降の長崎ゆかりの美術の一側面を物語るような名品の数々が並びます。

また展示会場の後半には特別展示として、鎌倉時代の二度にわたる元寇を題材とし、海外交流史の上でもきわめて重要な作品として知られる国宝《蒙古襲来絵詞》を展示します。長崎県では壱岐市、対馬市等において古戦場周辺の発掘調査が継続して実施されているほか、1980 年に初めて水中調査が実施されて以来継続的に調査が重ねられている松浦市では、2024 年 10 月にも 3 隻目となる元軍沈没船が確認されるなど大きな注目を集めています。本展では参考資料として松浦市教育委員会が所蔵する出土遺物《てつほう》も展示します。

本展は今日まで大切に受け継がれてきた皇室ゆかりの名品の数々を通して皇室文化の精華にふれるとともに、地域の文化を見つめなおす契機となるはずです。

■見どころ

1. 国宝《蒙古襲来絵詞》をはじめとする珠玉の作品群

日本の海外交流史においてきわめて重要な視覚資料として名高い国宝《蒙古襲来絵詞》(※前巻)をはじめとする名品の数々が展示されます。本展では《蒙古襲来絵詞》のなかでも最も著名である、てつはうを投げ矢を射るモンゴル軍と日本兵の交戦を主題とした場面を展示します。松浦市教育委員会が所蔵する出土遺物「てつはう」とあわせて鑑賞することができます。



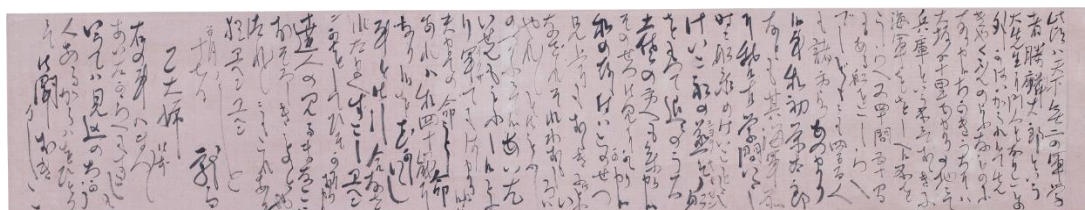
② 《てつはう》(鷹島海底遺跡出土遺物)、元時代(13世紀)、松浦市教育委員会

2. 坂本龍馬の手紙から精細な工芸品まで、豊かなバラエティ

皇居三の丸尚蔵館が収蔵する作品は絵画、彫刻、工芸、書跡、写真などじつに多彩な分野に及びます。本展においても、若き坂本龍馬が姉に宛てた手紙から、皇室に献上するため技巧の精を尽くして制作された工芸品に至るまで、様々なジャンルの作品をお楽しみいただけます。



③ 重要文化財《万国絵図屏風》、安土桃山～江戸時代(17世紀)、紙本着色、国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)



④ 坂本龍馬《書状(乙大姉宛)》江戸時代・文久3年(1863)、紙本墨書、国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)



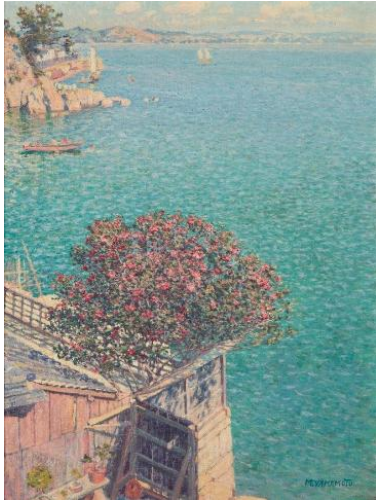
⑤ 高橋由一《織田信長ひそかに密勅を五老臣に示すの図》明治26年(1893)、油彩・カンヴァス、国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)



⑥ 江崎栄造《玳瑁冠棚》大正13年(1924)、玳瑁・金銀象嵌、国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)

3. 名品で味わう、近代以降の「長崎ゆかりの美術」

長崎県美術館は開館以来、「長崎の美術」シリーズを中心に、近代以降の長崎ゆかりの美術の顕彰につとめてきました。こうした長崎県美術館の活動に鑑み、本展では長崎の近代美術の一面を物語るような名品の数々が並びます。初期官展を代表する風景画家として知られた山本森之助が献上品として制作した優品や、大村市出身の日本画家・荒木十畝とその師である荒木寛畝の共演など、長崎県美術館で開催する本展ならではのラインナップとなっています。



⑦ 山本森之助《夾竹桃》大正3年(1914)、
油彩・カンヴァス、国（皇居三の丸尚蔵館
収蔵）



⑧ 荒木寛畝《桜に山鳥図額》明治17年(1884)、
絹本着色、国（皇居三の丸尚蔵館収蔵）

■ 関連企画

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時 | 9月27日(土)、10月11日(土) 各日 14:00～

会 場 | 常設展示室第1・2室

定 員 | 各日 20名程度

◎当日受付、参加無料 ※要本展観覧券

| 招 待 券 |

本展をご紹介いただける場合に限り、読者・視聴者プレゼント用招待券（最大10組20名様まで）をご用意しています。ご利用を希望される場合は、当館広報までお問い合わせください。

広報用画像のご提供について

本リリースに掲載している画像①～⑧を広報用にご用意しています。ご利用を希望される場合は、媒体名、発行日、ご担当者名、連絡先、ご希望の画像番号を記載の上、長崎県美術館広報宛にFAXまたはメールにてご連絡ください。

掲載には各主催団体へ校正確認が必要となります。確認には1～2週間ほどいただくため、余裕をもってご連絡ください。

【画像使用の注意事項】

※画像の使用は、本展をご紹介していただける場合に限ります。

※掲載にあたっては事前校正が必要です。ご依頼はお早めにお問い合わせいたします。

※画像のキャプション及びクレジットは必ずご掲載ください。

※画像のトリミングや文字載せは不可。

※二次使用禁止。使用後は速やかに画像データを破棄ください。

※掲載終了後は、掲載出版物を当館広報宛にお送りください。

展覧会概要

展覧会名 | ながさきピース文化祭 2025 皇室の名品と長崎一皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

時 間 | 10:00~20:00※最終入場は閉館 30 分前まで

休 館 日 | 9 月 22 日 (月)、10 月 14 日 (火)

入 場 料 | 一般 420 (340) 円、大学生・70 歳以上 310 (250) 円、高校生以下無料

◎()内は 15 名以上の団体料金。

◎身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証提示者及び介護者 1 名は無料。

◎学校行事や部活動の一環として、小・中・高・特別支援学校・大学・専門学校及び学童保育が利用する場合、引率の教員は無料。

主 催：長崎県、長崎県美術館、文化庁、皇居三の丸尚蔵館

特別協力：紡ぐプロジェクト、読売新聞社

後 援：長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、
毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK 長崎放送局、NBC 長崎放送、
KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ、
長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

長崎県美術館（公益財団法人長崎ミュージアム振興財団） 広報担当：古賀・井上／学芸担当：松久保
〒850-0862 長崎市出島町 2 番 1 号 Tel.095-833-2110 Fax.095-833-2115
<https://www.nagasaki-museum.jp> e-mail:info-k@nagasaki-museum.jp